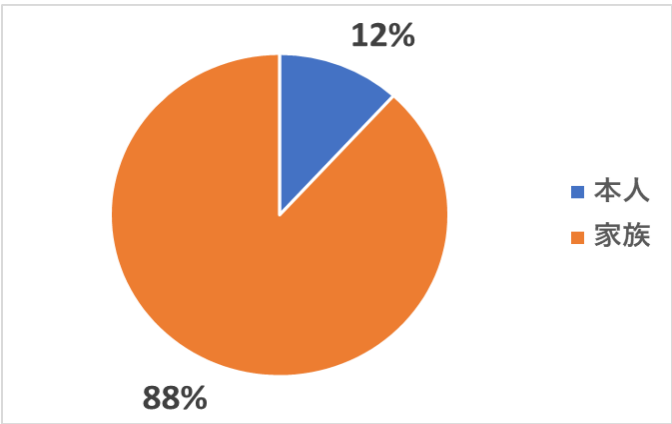
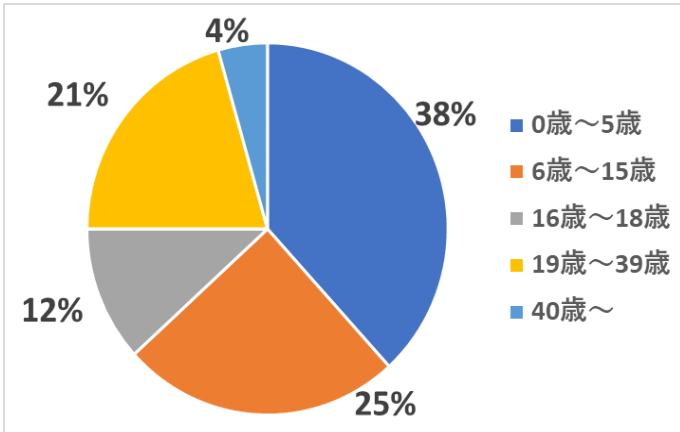
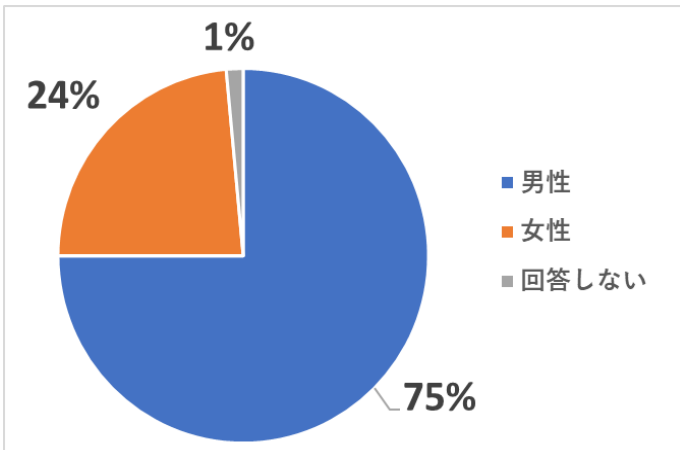


令和7年度 栗東市発達障がいの理解に関するアンケート調査 結果報告(案)

調査名	令和7年度 栗東市発達障がいの理解に関するアンケート調査
目的	栗東市における発達障がい児・者(その疑いを含む)に関する支援の充実につなげるため
実施方法	① 対面による調査票への記入 ② Webを通じた回答
実施期間	令和7年9月1日(月)～令和8年1月30日(金)
対象者(回答数)	発達支援課事業を利用する本人及び家族(68名)

発達障がいの理解に関するアンケート結果

1. 回答者および対象者の傾向

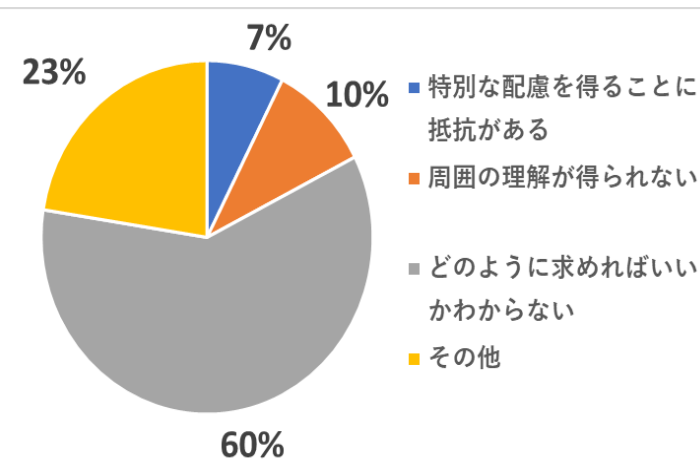
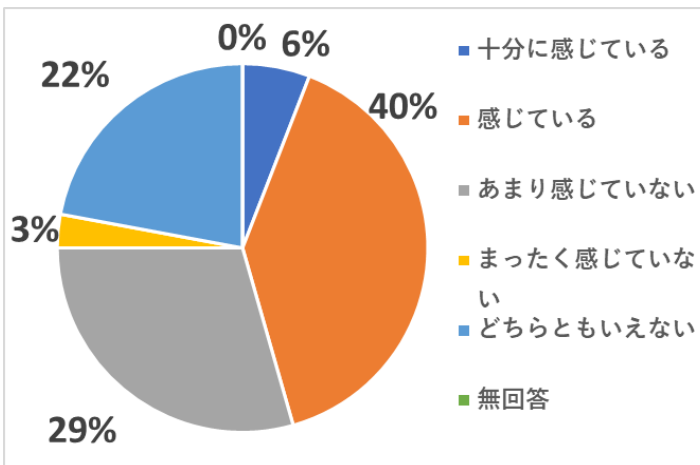
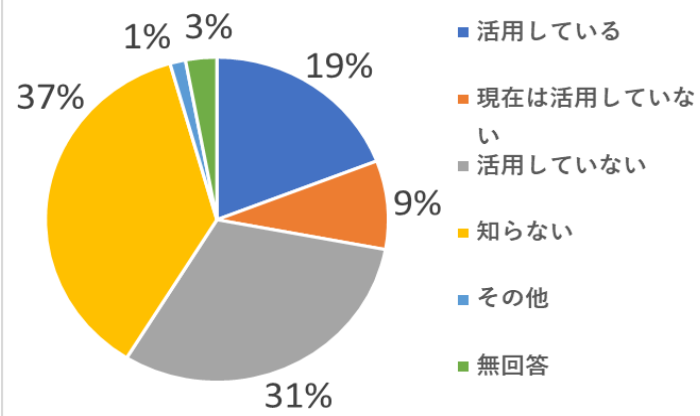
質問項目	結果
① アンケートにお答えいただいた方はどなたですか	 <p>● 今回の調査で回答いただいた方は、「本人」が12%、「家族」が88%となっています。</p>
② ご本人の年齢	 <p>● 対象者の年齢は、「0歳～5歳」の就学前段階が38%で最も多く、次いで「6歳～15歳」が25%と義務教育段階にある年齢が多くなっています。</p>
③ ご本人の性別	 <p>● 対象者の性別は「男性」が75%、「女性」が24%、「回答しない」が1%となっています。</p>

<p>④ ご本人の所属先</p>	<table border="1"> <caption>ご本人の所属先</caption> <thead> <tr> <th>所属先</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>園（就学前）</td><td>39%</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>15%</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>3%</td></tr> <tr><td>高等学校</td><td>3%</td></tr> <tr><td>大学・専門学校</td><td>9%</td></tr> <tr><td>特別支援学校</td><td>9%</td></tr> <tr><td>就労（企業など）</td><td>1%</td></tr> <tr><td>在宅</td><td>9%</td></tr> <tr><td>通所先なし</td><td>3%</td></tr> </tbody> </table>	所属先	割合	園（就学前）	39%	小学校	15%	中学校	3%	高等学校	3%	大学・専門学校	9%	特別支援学校	9%	就労（企業など）	1%	在宅	9%	通所先なし	3%	<p>●対象者の所属は、「園（就学前）」が最も多く 39%を占め、次いで「小学校」が 15%となっています。</p>
所属先	割合																					
園（就学前）	39%																					
小学校	15%																					
中学校	3%																					
高等学校	3%																					
大学・専門学校	9%																					
特別支援学校	9%																					
就労（企業など）	1%																					
在宅	9%																					
通所先なし	3%																					
<p>⑤ ご本人の診断（発達障がい）の有無について教えてください</p>	<table border="1"> <caption>ご本人の診断（発達障がい）の有無</caption> <thead> <tr> <th>診断の有無</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>あり</td><td>57%</td></tr> <tr><td>なし</td><td>32%</td></tr> <tr><td>回答しない</td><td>9%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2%</td></tr> </tbody> </table>	診断の有無	割合	あり	57%	なし	32%	回答しない	9%	無回答	2%	<p>●対象者の診断の有無では、「（診断）あり」が 57%となっています。</p>										
診断の有無	割合																					
あり	57%																					
なし	32%																					
回答しない	9%																					
無回答	2%																					

2. 発達障がいの理解と支援について

質問項目	結果															
<p>⑥ 発達障がいについて、周囲から理解されていると感じますか</p>	<table border="1"> <caption>発達障がいについて、周囲から理解されていると感じますか</caption> <thead> <tr> <th>理解状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>よく理解されている</td><td>4%</td></tr> <tr><td>理解されている</td><td>28%</td></tr> <tr><td>あまり理解されていない</td><td>31%</td></tr> <tr><td>理解されていない</td><td>6%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>31%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	理解状況	割合	よく理解されている	4%	理解されている	28%	あまり理解されていない	31%	理解されていない	6%	どちらともいえない	31%	無回答	0%	<p>●発達障がいの理解について「よく理解されている」（4%）、「理解されている」（28%）となり、合わせて 32%を占めています。</p> <p>●一方、「あまり理解されていない」（31%）、「理解されていない」（6%）であり、合わせて 37%を占めています。</p> <p>●「どちらともいえない」は 31%となっています。</p>
理解状況	割合															
よく理解されている	4%															
理解されている	28%															
あまり理解されていない	31%															
理解されていない	6%															
どちらともいえない	31%															
無回答	0%															

<p>⑦ 『問6』で「よく理解されている」「理解されている」と回答された方にお尋ねします。なぜ、そう思いますか(複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家族の理解がある ■ 友人の理解がある ■ 上司・同僚の理解がある ■ 地域の理解がある ■ 相談できるところがある ■ 困っていない ■ サービス・支援が充実している ■ 個別の配慮がある ■ 受け入れられている雰囲気がある ■ その他 	<p>●発達障がいの理解について、「よく理解されている」、「理解されている」と回答された理由では、「家族の理解がある」と「相談できるところがある」がそれぞれ23%と多くなっています。</p>
<p>⑧ 『問6』で「あまり理解されていない」「理解されていない」と回答された方にお尋ねします。なぜ、そう思いますか(複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家族の理解がない ■ 友人の理解がない ■ 上司・同僚の理解がない ■ 地域の理解がない ■ 相談できるところがない ■ 困っている ■ サービス・支援が不足 ■ 個別の配慮がない ■ 受け入れられている雰囲気がない ■ その他 	<p>●発達障がいの理解について、「あまり理解されていない」、「理解されていない」と回答された理由では、「地域の理解がない」と「受け入れられている雰囲気がない」が、それぞれ16%と多くなっています。</p>
<p>⑨ 合理的配慮を求めたことがありますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ある ■ ない ■ 無回答 	<p>●合理的配慮を求めたことが「ある」と回答された方は43%であり、「ない」と回答された方は57%となっています。</p>
<p>⑩ 『問9』で「ある」とお答えした方にお尋ねします。合理的配慮の具体例を教えてください。(複数回答可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ルビうち ■ 座席の配慮 ■ 音声ペン、タブレット端末等 ■ 作業量の調整 ■ ノイズキャンセリングイヤホン等 ■ その他 	<p>●合理的配慮を求めたことが『ある』と回答された方の『提供を受けた合理的配慮の具体例』では、「座席の配慮」が36%と最も多く、次いで「作業量の調整」が28%と多くなっています。 ●「その他」の具体例として、『別室受験』、『気持ちを切り替える時間を確保する』等がありました。</p>

<p>① 『問9』で「ない」とお答えした方にお尋ねします。合理的配慮を求めたことがない理由を教えてください(複数回答可)</p>	 <p>7% 10% 23% 60%</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な配慮を得ることに抵抗がある 周囲の理解が得られない どのように求めればいいのかわからない その他 	<p>●合理的配慮を求めたことが『ない』と回答された方の理由では、「どのように求めればいいのかわからない」が60%と最も多く、次いで「その他」が23%となっています。</p> <p>●「その他」の具体例では、『こちらから求めたことがない』、『求めなくても配慮されている』、『わがままだと思われそうで言いにくい』等がありました。</p>
<p>② 発達障がいに対する支援は十分だと感じていますか</p>	 <p>0% 6% 22% 40% 29% 3%</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分に感じている 感じている あまり感じていない まったく感じていない どちらともいえない 無回答 	<p>●発達障がいに対する支援では、「十分に感じている」(6%)、「感じている」(40%)となり、合わせて46%を占めています。</p> <p>●一方、「あまり感じていない」(29%)、「まったく感じていない」(3%)であり、合わせて32%を占めています。</p> <p>●「どちらともいえない」は22%となっています。</p>
<p>③ 相談支援ファイルの活用について教えてください</p>	 <p>1% 3% 19% 9% 37% 31%</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用している 現在は活用していない 活用していない 知らない その他 無回答 	<p>●「活用している」が19%でした。</p> <p>●一方、「現在は活用していない」(9%)、「活用していない」(31%)で、合わせて40%となっています。</p> <p>●また、「相談支援ファイルを知らない」は37%となっています。</p>

3. 皆様の感想・ご意見(自由記述欄より抜粋し、まとめさせていただきました)

- ・子どもの年齢が上がるにつれ、相談先が少ないと感じる。
- ・子どもを含め保護者同士が交流できる場があると良い。
- ・相談できる場所が分かりやすい方がいいと思った。
- ・社会の認知度は進んだが、まだまだ理解が乏しい(市町単位で支援のばらつきがある、利用手続きが簡略になると良い)。

ご意見に対して

今回のアンケートにより、皆様から様々な貴重なご意見を聞かせていただくことができ、栗東市の発達支援を振り返るよい機会となりました。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の栗東市の発達支援の充実につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。